

令和6年度ネットリサーチ「人権意識」に関する調査結果報告書

■結果のポイント

- 「人権」が大切だと思うかについては、「そう思う」(58.6%)と「少しそう思う」(24.9%)を合わせた【そう思う】が83.5%となっている。一方で、「あまりそう思わない」(1.6%)と「そう思わない」(0.7%)を合わせた【そう思わない】が2.3%となっている。
- 人権を意識した行動については、「いつも意識している」(24.1%)と「ときどき意識している」(37.9%)を合わせた【意識している】が62.0%となっている。一方で、「あまり意識していない」(9.3%)と「いつも意識していない」(4.9%)を合わせた【意識していない】が14.2%となっている。

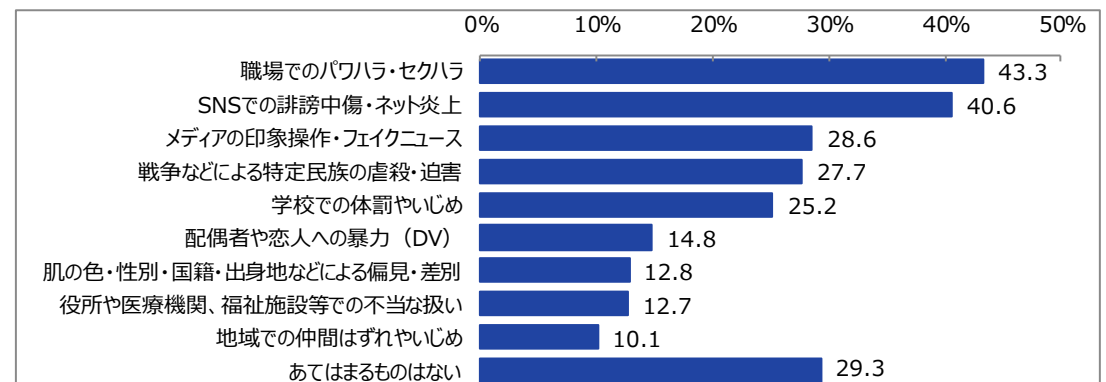
■調査結果の概要

1 最近見聞きした社会問題

☆ 「職場でのパワハラ・セクハラ」が43.3%で最も高く、「SNSでの誹謗中傷・ネット炎上」が40.6%と続く。

Q1.以下の社会問題について、あなたが最近、話題にしたり、見聞きしたことはなんですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
職場でのパワハラ・セクハラ	43.3	433
SNSでの誹謗中傷・ネット炎上	40.6	406
メディアの印象操作・フェイクニュース	28.6	286
戦争などによる特定民族の虐殺・迫害	27.7	277
学校での体罰やいじめ	25.2	252
配偶者や恋人への暴力（DV）	14.8	148
肌の色・性別・国籍・出身地などによる偏見・差別	12.8	128
役所や医療機関、福祉施設等での不当な扱い	12.7	127
地域での仲間はずれやいじめ	10.1	101
あてはまるものはない	29.3	293



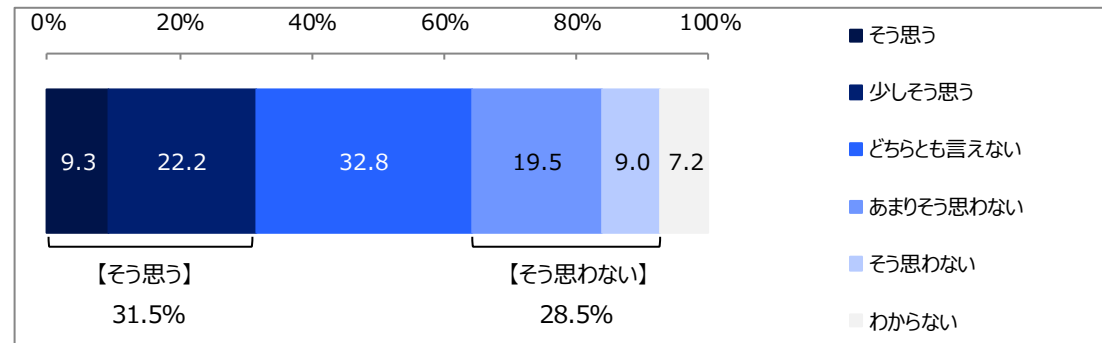
2 「人権」が尊重されている社会について

☆ 「そう思う」(9.3%)と「少しそう思う」(22.2%)を合わせた【そう思う】が31.5%となっている。

☆ 一方で、「あまりそう思わない」(19.5%)と「そう思わない」(9.0%)を合わせた【そう思わない】が28.5%となっている。

Q2.あなたは、今の日本は、「人権※」が尊重されている社会だと思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
そう思う	9.3	93
少しそう思う	22.2	222
どちらとも言えない	32.8	328
あまりそう思わない	19.5	195
そう思わない	9.0	90
わからない	7.2	72



※「人権」とは、「人らしく生きていくための権利」であり、人種や民族、性別を超えてすべての人に生まれながらにある権利のことです。

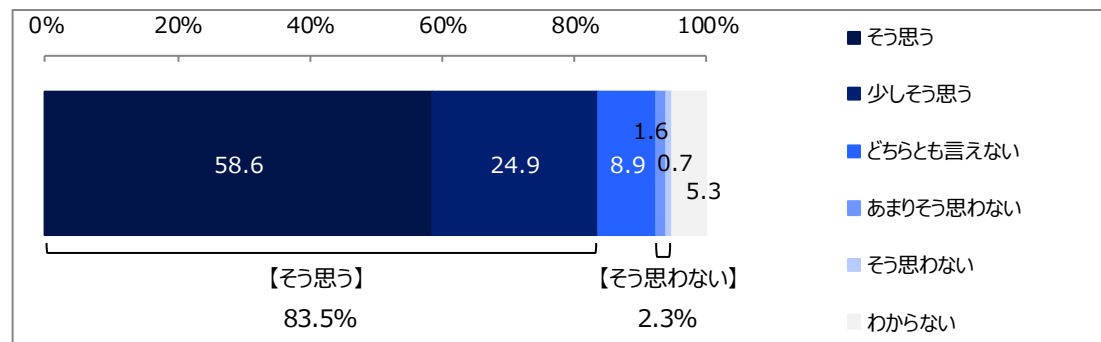
3 「人権」の大切さについて

☆ 「そう思う」(58.6%)と「少しそう思う」(24.9%)を合わせた【そう思う】が83.5%となっている。

☆ 一方で、「あまりそう思わない」(1.6%)と「そう思わない」(0.7%)を合わせた【そう思わない】が2.3%となっている。

Q3.あなたは、「人権」が大切だと思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
そう思う	58.6	586
少しそう思う	24.9	249
どちらとも言えない	8.9	89
あまりそう思わない	1.6	16
そう思わない	0.7	7
わからない	5.3	53



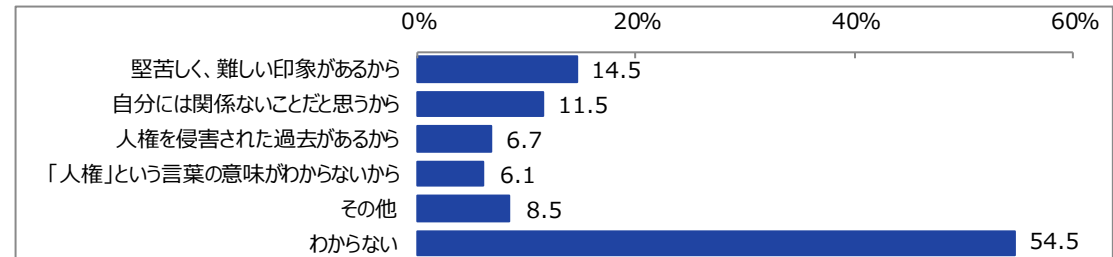
4 人権が大切だと思わない理由

☆ 「堅苦しく、難しい印象があるから」が14.5%、「自分には関係ないことだと思うから」が11.5%などとなっている。

(Q3で「どちらとも言えない」「あまりそう思わない」「そう思わない」「わからない」と回答された方へ)

Q4.そのように回答された主な理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

	%	n
全体	100.0	165
堅苦しく、難しい印象があるから	14.5	24
自分には関係ないことだと思うから	11.5	19
人権を侵害された過去があるから	6.7	11
「人権」という言葉の意味がわからないから	6.1	10
その他	8.5	14
わからない	54.5	90



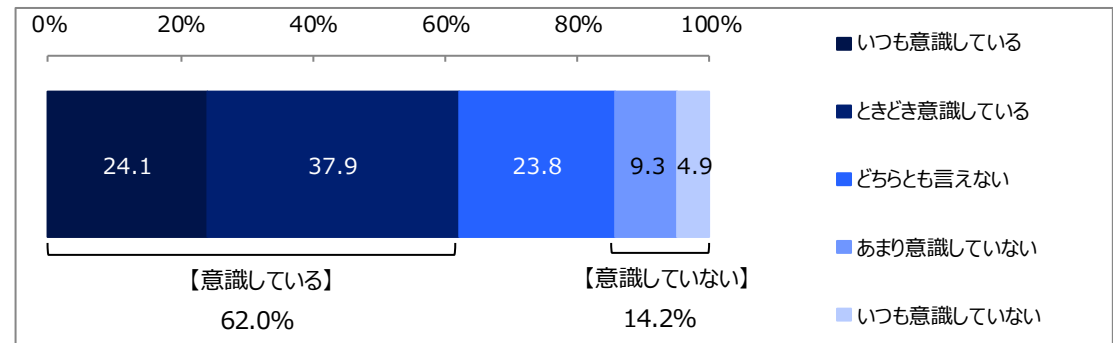
5 人権を意識した行動

☆ 「いつも意識している」(24.1%)と「ときどき意識している」(37.9%)を合わせた【意識している】が62.0%となっている。

☆ 一方で、「あまり意識していない」(9.3%)と「いつも意識していない」(4.9%)を合わせた【意識していない】が14.2%となっている。

Q5.あなたは、日頃他人の立場を尊重するなど「人権」を意識しながら行動していますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
いつも意識している	24.1	241
ときどき意識している	37.9	379
どちらとも言えない	23.8	238
あまり意識していない	9.3	93
いつも意識していない	4.9	49



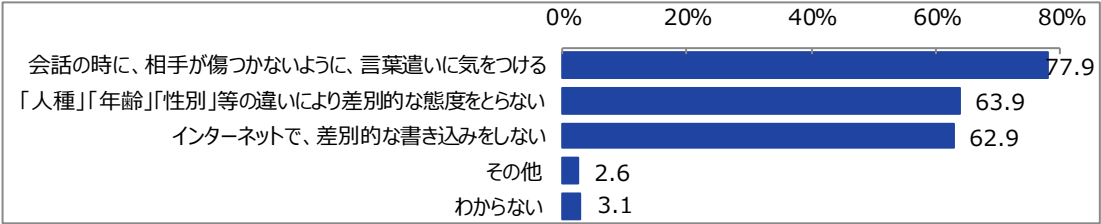
6 「人権」が尊重される社会を実現するための行動

☆ 「会話の時に、相手が傷つかないように、言葉遣いに気をつける」が77.9%で最も高く、「「人種」「年齢」「性別」等の違いにより差別的な態度をとらない」が63.9%と続く。

(Q5で「いつも意識している」「ときどき意識している」と回答された方へ)

Q6.あなたは、「人権」が尊重される社会を実現するために、どのような行動を心掛けていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

	%	n
全体	100.0	620
会話の時に、相手が傷つかないように、言葉遣いに気をつける	77.9	483
「人種」「年齢」「性別」等の違いにより差別的な態度をとらない	63.9	396
インターネットで、差別的な書き込みをしない	62.9	390
その他	2.6	16
わからない	3.1	19

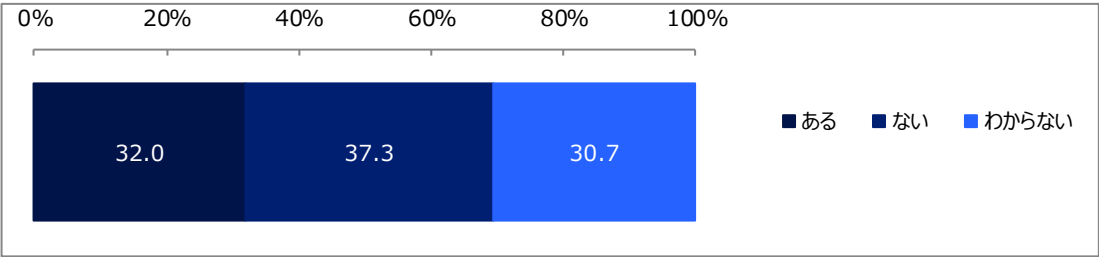


7 「人権」が侵害された経験

☆ 「ある」は32.0%となっている。一方で、「ない」は37.3%となっている。

Q7.あなたは、自分の人権が侵害されたと感じたことがありますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
ある	32.0	320
ない	37.3	373
わからない	30.7	307

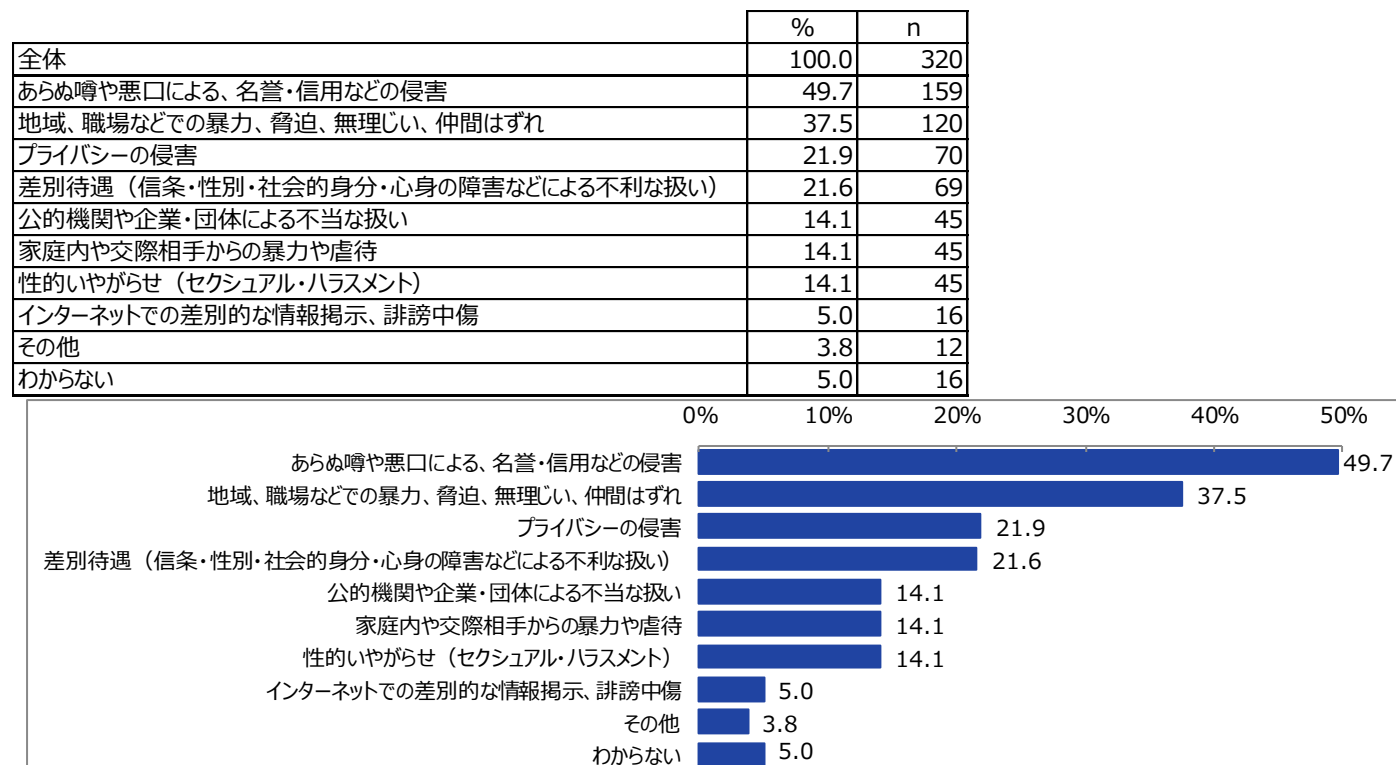


8 「人権」が侵害されたと感じた状況

☆ 「あらぬ噂や悪口による、名誉・信用などの侵害」が49.7%で最も高く、「地域、職場などでの暴力、脅迫、無理じい、仲間はずれ」が37.5%と続く。

（Q7で「ある」と回答された方へ）

Q8.それはどのような場合ですか。差し支えがなければ、次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

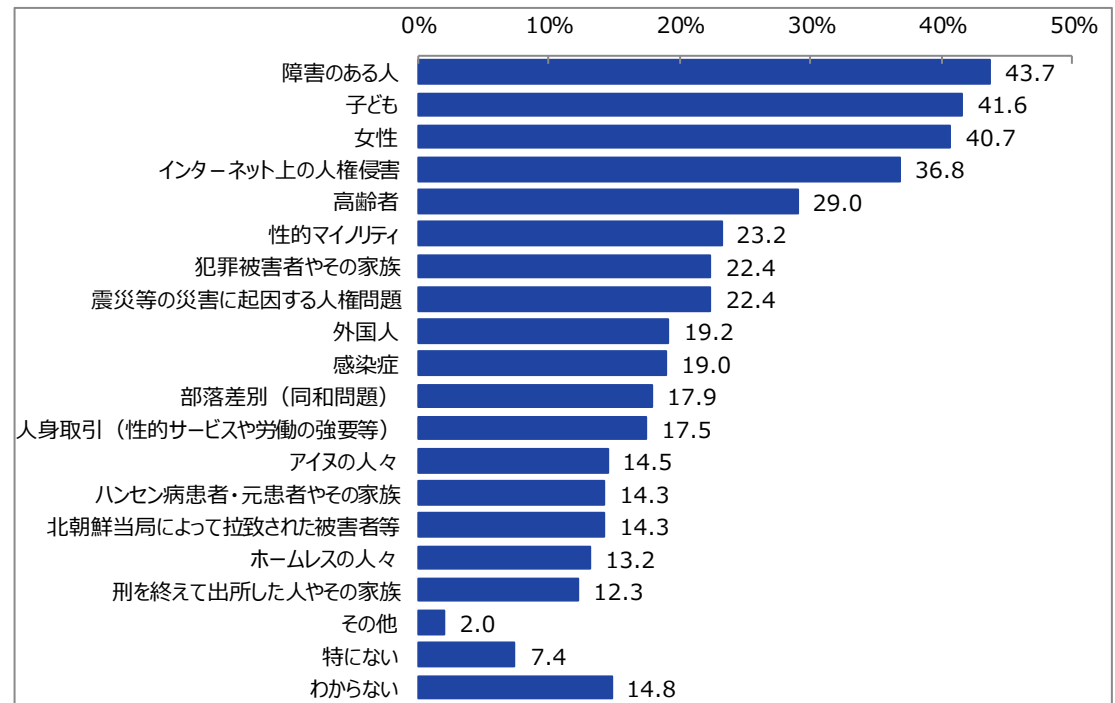


9 力を入れるべき人権の分野

☆ 「障害のある人」が43.7%で最も高く、「子ども」が41.6%と続く。

Q9.人権にはさまざまな分野がありますが、今後、どの分野に力を入れていく必要がありますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

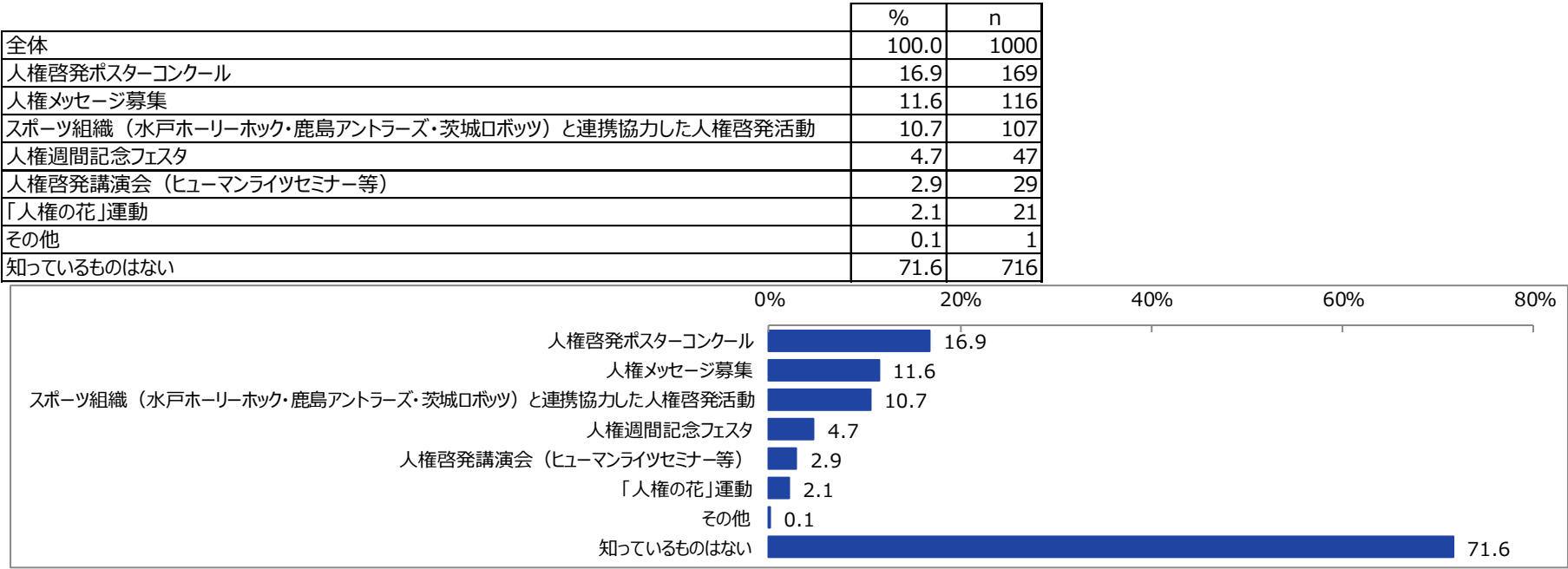
	%	n
全体	100.0	1000
障害のある人	43.7	437
子ども	41.6	416
女性	40.7	407
インターネット上の人権侵害	36.8	368
高齢者	29.0	290
性的マイノリティ	23.2	232
犯罪被害者やその家族	22.4	224
震災等の災害に起因する人権問題	22.4	224
外国人	19.2	192
感染症	19.0	190
部落差別（同和問題）	17.9	179
人身取引（性的サービスや労働の強要等）	17.5	175
アイヌの人々	14.5	145
ハンセン病患者・元患者やその家族	14.3	143
北朝鮮当局によって拉致された被害者等	14.3	143
ホームレスの人々	13.2	132
刑を終えて出所した人やその家族	12.3	123
その他	2.0	20
特にない	7.4	74
わからない	14.8	148



10 県が実施している人権啓発活動の認知度

☆ 「人権啓発ポスターコンクール」が16.9%で最も高く、「人権メッセージ募集」が11.6%と続く。

Q10.県が実施している人権啓発活動で、知っているものはありますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。



■調査の目的

定期的な調査の実施により、県民の「人権」に対する意識や人権問題への認識の推移を把握する。また、調査結果を以下の施策に活用する。

- ①前回調査時点からの人権施策の成果を確認する。
- ②人権問題に関する課題・ニーズを明らかにし、より効果的な啓発手段を考察する。
- ③今後の人権教育・啓発活動の推進に役立てるとともに、第二次茨城県総合計画数値目標の一つである「7 1. 人権は大切であると感じている県民の割合」の向上につなげる。

■実施概要

- ・実施期間：令和7年1月17日～1月26日
- ・サンプル数：茨城県常住人口調査（令和6年4月1日現在）に基づく性別・年代・居住地（5地域）の割合で割り付けた18歳以上の県民1,000サンプル

回答者数（人）

		県北	県央	鹿行	県南	県西	計
全体		110	246	93	362	189	1,000
性別	男性	57	126	50	187	99	518
	女性	53	120	43	175	90	482
年代別	18～29 歳	17	41	16	70	33	177
	30 歳代	16	42	16	61	30	165
	40 歳代	21	54	20	81	41	217
	50 歳代	28	59	21	83	44	235
	60 歳代	28	50	20	67	41	206

県 北：日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、久慈郡
県 央：水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、東茨城郡、那珂郡
鹿 行：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県 南：土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡
県 西：古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(注)

- 1. 「ネットリサーチ」の回答者は、民間調査会社のインターネットリサーチモニターであり、無作為抽出された調査対象者ではない。
- 2. 割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
- 3. 図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。
- 4. 男性18～29歳の回収件数は、「鹿行」及び「県西」の地域で目標値（上記の件数）を下回ったため、男性30歳代で「鹿行」1サンプル及び「県西」6サンプルを超過回収し、地域×性年代の人口分布に極力近づくように調整した。